

# 令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 3 活力と魅力あふれるまちの創造

<b>主要課題</b>	No. 30	中小企業の企業力向上
-------------	--------	------------

<b>● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●</b>		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	多様な人材の確保など、区内中小企業の経営基盤が強化されるとともに、生産性を高める取組が推進され、持続可能な企業活動が活発に行われている。さらに、多様な創業が促進され、産業の新陳代謝が進み、区内産業が活性化している。	
計画期間の方向性	<p>○中小企業の経営基盤強化・生産性向上</p> <p>中小企業のニーズに応じたきめ細かな支援を推進するとともに、SDGsやSociety5.0の視点も踏まえ、中小企業の生産性を高める取組を支援することで、企業力の向上と、中長期を見通した持続可能な区内産業の振興を図ります。</p> <p>○多様な創業の促進</p> <p>区内における多様な創業を総合的に支援し、区内の産業振興や地域経済の活性化を図るとともに、創業に対する区民の理解・関心を深めるため、普及啓発に関する取組を推進します。</p>	

<b>0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）</b>	
<p>国や都等の関係機関等と連携して、様々な社会情勢下における区内中小企業の事業継続を支援するとともに、コロナ収束後を見据えた企業力強化につながる支援を実施し、区内中小企業によるSDGsの達成に向けた取組を推進し、区内産業の持続的な発展を図ります。</p> <p>社会状況に応じた求職者の就労と区内中小企業の人材確保を支援するとともに、引き続き、セミナーの実施や資格取得費の補助等を通じて、企業活動の拡大や従業員の能力開発を支援します。また、区内大学等の地域資源を有効活用しながら、創業支援等事業計画に沿って効果的な創業支援事業を展開していきます。</p>	

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

<b>1 どのような事業で・何をしたか（実績）</b>		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
110	中小企業支援事業	経済課	経営の安定や生産性の向上など、中小企業の経営基盤の強化を図る。						374,105千円 (412,068千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 経営相談件数	件	1,421	1,651	5,942	1,982	2,107		
	② 融資あっせん件数	件	565	711	1,379	727	939		
	③ 持続可能性向上支援事業補助（省エネ設備・生産性向上設備）及び各種認証取得費等補助の件数	件	8	22	15	52	66		
111	中小企業人材確保支援事業	経済課	就職を希望する若年者等と企業をつなぎ、求職者の就労と企業の人材確保を支援する。						22,576千円 (24,207千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 就職面接会への参加人数	人	132	173	76	171	225		
	② インターンシップの実施件数	件	22	37	171	6	—		
	③ マッチング支援により就職した人数	人	10	40	32	52	64		
112	創業支援事業	経済課	区内での多様な創業を支援するとともに、創業の普及啓発を推進する。						16,558千円 (31,777千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 創業支援事業の利用者数	人	166	127	139	132	131		
	② チャレンジショップ支援件数	件	6	10	10	10	8		
	③ 創業機運醸成プロジェクト（創業入門サロン）の参加者数	回	—	—	28	33	15		
④ 創業機運醸成プロジェクト（チャレンジマインド養成プログラム）の参加者数	回	—	—	中止	中止	中止			
<b>●特記事項（実績の補足）</b>									

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞により、多くの区内企業が売上やサプライチェーンに影響を受けました。その後もコロナ禍の影響が長期化するとともに、物価やエネルギー価格の高騰、国際情勢の変化が生じたことから、区内中小企業は依然として原材料費の上昇や資金繰りの悪化などの厳しい状況に置かれています。また、コロナ収束後を視野に入れた経営力の強化や、環境保全、SDGsの達成に向けた取り組み等が求められています。

雇用についても、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う解雇や雇止め等により、離職者が増加するなど大きな影響を受けました。長期化するコロナ禍においては、影響が残つつも雇用指標には回復傾向が見られ、今後もこの傾向が続くことが期待されますが、引き続き状況を注視していく必要があります。

一方で、区内中小企業の人手不足については、景気が持ち直していくことが期待される中でさらに厳しい状況となることが予想されます。

3 現総合戦略における成果や課題は何か（点検・分析）		1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
----------------------------	--	--

### ○中小企業の経営基盤強化・生産性向上

令和2年3月から「新型コロナウイルス対策特別融資」を新設して資金繰りや事業多角化・業態転換に対する支援を行い、その後の経済状況を踏まえて、4年6月に「現下の経済変動に対応するための特別融資」として拡充しました。

2年度には、家賃、人件費や感染症対策の取組を補助する「中小企業事業継続支援補助金」により、コロナ禍における事業継続と感染症対策への支援を行いました。

また、生産性向上や省エネに係る設備投資について、3・4年度に「持続可能性向上支援補助金」の予定件数等を拡充し、5年4月からは「現下の経済変動に対応するための設備投資支援補助金」として補助率と予定件数をさらに拡充した支援を行っています。

4年8月からは、事業再興に向けた事業計画の策定等に当たり専門家を活用した際の経費を補助する「現下の経済変動に対応するための経営相談支援補助金」を新設し、5年1月から電力・ガス・燃料等に係る経費について補助対象を拡大しました。5年度についても同事業を実施します。

さらに、区内中小企業による知的財産の活用を促進するため、セミナー、専門相談窓口の開設に加え、令和5年度から知的財産権の取得費に係る補助を行っています。

各事業を通じてコロナ禍や経済変動の中で区内中小企業の事業継続を支援するとともに、時流の変化に対応した企業力の強化を促進しました。今後も社会情勢、経済状況を踏まえつつ、区内中小企業のニーズに即した支援を行う必要があります。

人材の確保、育成については、2年度から区内中小企業の多様な人材の確保と活用を支援する「中小企業ダイバーシティ人材採用促進事業」を行っています。また、3年度は新型コロナウイルスの影響を受けた離職者等を対象とした「総合就労支援事業」及び「緊急就労支援事業」により、コロナ禍における求職者支援を行いました。4年度からは、アフターコロナを見据えたリスクリングによる中小企業の人材強化を支援する「中小企業人材強化支援事業補助金」を新設しました。

さらに、5年度は、「リカレント教育課程等受講料助成金」の補助対象者を非正規雇用者及び個人事業主まで拡充するとともに、区民向けにリカレント教育の普及啓発セミナーを行います。

中小企業の人材確保は依然として厳しい状況にあり、人材確保の支援に加えて、リカレント教育やリスクリング等の「人」への投資につながる支援を行う必要があります。

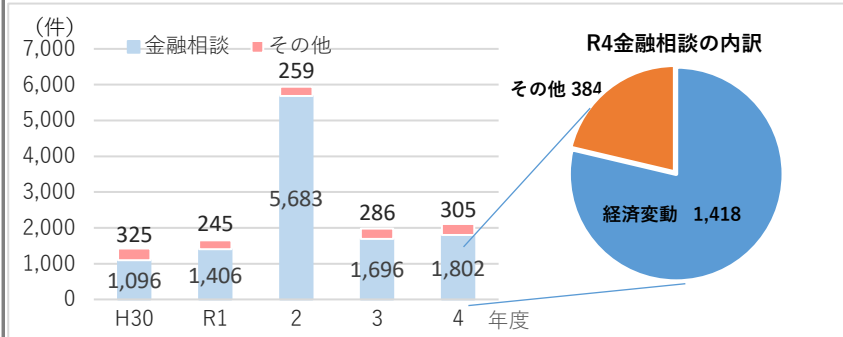
引き続き、中長期的な視野で中小企業の企業力を高めるための支援を行う必要があります。

### ○多様な創業の促進

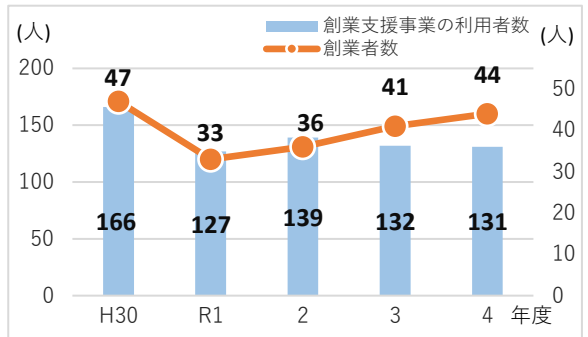
創業への関心はコロナ禍においても高く、創業者やこれから創業を考えている方に向けて創業支援セミナー及び創業入門サロンをオンラインで開催するなど柔軟な支援に努め、創業の機運醸成を図りました。今後は、アフターコロナにおける区内の創業に関する状況や新たなニーズの把握に努め、より効果的な支援や機運醸成を行っていく必要があります。

また、東京大学周辺等にはスタートアップが集積しており、今後も区内スタートアップ創出に向けた区内大学等との更なる連携や支援策を検討していく必要があります。

#### ●経営相談件数



#### ●創業支援事業の利用者数及び創業者数



<b>4 次期総合計画において、どのように進めていくか（展開）</b>	3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。
<p>中小企業をとりまく経済状況を踏まえ、実効性のある支援を推進するとともに、SDGsやSociety5.0、DX、GXの視点を踏まえた中小企業の取組を促進することにより、区内中小企業の企業力の向上と中長期を見通した持続可能な区内産業の振興を図ります。</p> <p>また、雇用情勢に応じた求職者の就労と区内中小企業の人材確保を支援するとともに、リカレント教育や中小企業におけるリスクリング等の「人」への投資に関する取組を支援していきます。</p> <p>創業支援事業による創業志望者への支援を引き続き行うとともに、区内スタートアップ創出に向けた区内大学等との連携や支援策を検討していきます。</p>	

<b>5 6年度、事業をどうするか（事業の見直し）</b>	主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。		
事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
110	中小企業支援事業	経済課	レベルアップ
111	中小企業人材確保支援事業	経済課	レベルアップ
112	創業支援事業	経済課	レベルアップ

●まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標(KPI)

指標	単位	2019	2020	2021	2022	2023	2023（目標）
中小企業等資金融資あっせん事業	件	56,827	58,206	58,933	59,872		60,427
	単年度実績	711	1,379	727	939		